

当社原子力発電所の耐震安全性評価実施計画書の見直し（概要）

1. 実施状況

- 基準地震動 S_s の策定のために、新耐震指針を踏まえ、敷地周辺で発生する地震に関する調査及び地質・地盤調査等を実施している。
- ・玄海及び川内原子力発電所の敷地周辺で発生する地震に関し、各種文献、観測データ及び活断層などの調査結果を収集・検討している。
 - ・平成18年度より、既設調査時の地質調査データを補完するために、玄海及び川内原子力発電所の敷地内では、ボーリング調査等を実施している。
 - ・玄海原子力発電所の敷地近傍及び敷地周辺では、地表地質調査、陸域での重力探査、ボーリング調査等を実施している。また、海域については、既設調査時に実施した音波探査記録等により、地質・地質構造を再検討しているが、さらに万全を期しデータの拡充を図るため、自社による海上音波探査を実施することで準備を進める。
 - ・川内原子力発電所の敷地近傍及び敷地周辺では、現在、3号機の増設を検討するための環境調査の一環として地質調査を実施しており、その中で、地表地質調査、反射法地震探査、ボーリング調査、海上音波探査等を実施している。
- これらの地質・地盤調査の結果を反映し、各施設の耐震安全性を評価する予定である。
- なお、平成19年能登半島地震や平成19年新潟県中越沖地震等から得られる知見は、必要に応じて適切に反映していく。

2. 見直し工程

- 当社原子力発電所の耐震安全性評価の報告については、地質・地盤調査結果、基準地震動 S_s の策定結果、玄海3号機及び川内1号機の安全上重要な機能を有する主要な設備の代表的機器の耐震安全性評価結果に関し、平成20年3月に中間報告を行う。

	工 程				
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
玄海原子力発電所	地質・地盤調査 平成19年9月 	1, 2号機	耐震安全性評価	平成21年9月	
			▽平成20年3月 玄海3号機中間報告		
			3, 4号機	耐震安全性評価	平成21年3月
川内原子力発電所	地質・地盤調査 平成19年9月 	1, 2号機	▽平成20年3月 川内1号機中間報告		
			耐震安全性評価	平成20年12月	